

2016年購入図書

No.	図書名	内容	著者名	出版社
1	少女犯罪	驚異の更生率を誇る女子少年院・榛名女子学園。窃盗・詐欺・売春・覚せい剤・暴行…そこでは様々な理由で送致された少女たちが問題の本質と向き合い、葛藤していた。少女を罪へ走らせた背景を探ると、次々と浮かび上がる家族の問題。その時、親は何をしていた？少女を闇から救うのは何か？少女たちの生の言葉が胸を打つ、渾身のルポルタージュ。	家田 莊子	ポプラ社
2	働く人のための「読む」カウンセリング ピープル・スキルを磨く	「コミュニケーション力を上げるとはどういうことか」、「怒りやストレスにどのように対処するのか」、「思考がネガティブになっているときに注意することは」、カウンセラーからの仕事と人間関係に疲弊しないためのヒント。	高山直子	研究社
3	永遠のピアノ 毛沢東の収容所からバッハの演奏家へある女性の壮絶	音楽があったからあの革命を乗り越えられた。演奏することは死をも意味した…。破壊と混乱の文化大革命が多くの時間を奪い去った。プロ演奏家になれたのは40歳の時。遅すぎる、けれども希望ある出発となった。芸術の意味を問う在仏中国人ピアニストの自伝。フランス語で著された最も優秀な音楽書籍に贈られる「グランプリ・デ・ミュージック」受賞の話題作。	シュ・シャオメイ	芸術新聞社
4	広告は、社会を揺さぶった ボーヴォワールの娘たち	婦人参政権の獲得、ウーマン・リブ運動、男女雇用機会均等法の成立…。女性の自覚と責任を応援した「ボーヴォワールの広告」を戦後70年の歴史とともにたどり、これからの広告とジェンダーはどうあるべきかを考える。	脇田 直枝	宣伝会議
5	DVシェルターの女たち	DVシェルターとは、配偶者や恋人などによる暴力を受けた女性が身を寄せる、現代の駆け込み寺のような場所だ。DVが世間で認知されるようになり、シェルターの存在も知られるようになってきたが、その内部がどのようになっているのかは、ほとんど明かされていない。 本書は憧れの結婚生活から一転、夫による激しい暴力に苦しめられたひとりの女性が、夫から逃れ、DVシェルターに入所し、DV被害から再生をする過程を描いたノンフィクション。	春日野 晴子	彩図社

6	「子育て」という政治 少子化なのになぜ待機児童が生まれるのか？	2013年に話題となった神奈川県横浜市の待機児童ゼロ達成。実はこれにはウラがあったー。保育所の補助金や児童館、学童保育、そして予防接種ひとつをとっても、すべて国会や地域の議会で決められる。子育てと政治は密接な関係にあるのだ。子育ての現場を長年取材してきた著者が、「子育てとそれに対する政治の対応」を多くのデータを交えながら検証し、日本の子育てを考える。保育新制度の中身と問題点にも触れる関係者必読の書。	猪熊弘子	角川SCC新書
7	僕が家庭科教師になったわけ つまるところの「生きる力」	1994年、高校家庭科男女共修化。同年に44歳で女子大に通い化学教師から家庭科教師になった。共稼ぎの家事育児に悪戦苦闘し、男も暮らしの技術と能力をもつ必要性を痛感した。暮らしの目線から考える科学を求めて、「生活科学」を志向し、化学教師から家庭科教師へ。これぞ男の世界と信じて「科学」を志し、やがて女の世界とされてきた「家庭科」のど真ん中に足を踏み入れた男性家庭科教師の奮戦記。「科学と暮らし」「ジェンダー」「生きるための家庭科」の実践を軽妙な筆致でつづる。	小平陽一	太郎次郎社
8	下層化する女性たち 労働と家庭からの排除と貧困	なぜ女性の下層化と格差の再生産が進むのか。失業、無業、虐待、家庭内暴力、離婚…かつてはセイフティネットであった家庭が、若年女性を窮地に追い込んでいる現実。見えにくい「女性の貧困」問題を可視化しつつ、社会的支援策を検討する。	小杉礼子	勁草書房
9	いちばん幸せになるために別れる？ やりなおす？ 「夫婦」にまずいたときに読む本	長年、夫婦をしていると、誰もが1度くらいは離婚を考えたことがあるのでは。でも、安易な選択は必ず後悔を生んでしまう。離婚してシングルマザーとして頑張るか。ゆっくりと再構築を目指すか。どちらを選んだとしても最善の道に進めるよう、心理的なことから法律や制度などの実用的なことまで、この1冊にまとめた。	新川てるえ	青志社
10	ひきこもる女性たち	ひきこもり問題を追いつけてきた著者が実感した、危機的な日本の大問題。統計から消され、「弱者」にすらなれないー深刻化する「見えない」女性の実態。今まで誰も指摘しなかった、潜在する「女性」のひきこもり。	池上正樹	ベスト新書
11	働く女性たちへ 勇気と行動力で人生は変わる	出世するほど仕事は楽になる！女性の限界は自分のなかにある。今こそ立ち上がり男社会のなかで賢く働こう！『働く君に贈る25の言葉』著者初の女性向けメッセージ。	佐々木常夫	WAVE出版

12	主夫のトモロー	朱川氏自身の“主夫”体験をもとに、著者らしい温かみあふれるフィクションとして描いた渾身の一作。思わず頷ける育児の悩みや醍醐味を描きつつ、「家族の在り方・親子の関わり方」など、普遍的なテーマに鋭く言及。箱庭的な世界で巻き起こる主人公・トモローとその周囲による濃密な悲喜交々を丹念に綴った家族小説。	朱川湊人	NHK出版
13	ダイバーシティ 生きる力を学ぶ物語	人はひとりひとりが違うからこそおもしろい。個人と社会にとっての「ダイバーシティ(多様性)」の意味を明らかにするファンタジーと教育劇を収録。楽しみながら読める、社会学者だからこそ描ける物語。	山ロー男	東洋経済新報社
14	ブラック彼氏 恋愛と結婚で失敗しない50のポイント	「ブラック彼氏」とは、一見すると高スペックなのに結婚したらとんでもない「事故物件」だったことが発覚してしまう男性を指す。例えば、「結婚前は優しかったのに結婚後はひどいモラハラ夫になった」「結婚前は羽振りが良かったのに結婚後はドケチ夫になった」など、結婚前に隠れていたブラック性が結婚後に現れる男性は意外と多い。本書では、実際にあった数多くの離婚事件をもとに、結婚前にブラック度を見抜く50のチェックポイントを挙げる。	堀井亜生	毎日新聞出版
15	アクティブラーニングで学ぶジェンダー 現代を生きるための12の実践	身近にあるけれど気づきにくい“ジェンダー”。おもちゃ、物語、エイジング、精神疾患、デートDV、母娘関係、キャリア・デザイン、家事、結婚…様々なトピックスについて実習をとおして学ぶ。	青野篤子	ミネルヴァ書房
16	ちくま評伝シリーズ<ポルトレ>ココ・シャネル: 20世紀ファッションの創造者	斬新なデザインと奇抜なアイデアで20世紀のファッションを根底的に変革したシャネル。女性が自由に生きるために闘いつづけたその生涯を追う。	筑摩書房編集部	筑摩書房
17	ちくま評伝シリーズ<ポルトレ>長谷川町子	「サザエさん」はこうして国民的人気マンガになった。母と三姉妹の家族の物語。	筑摩書房編集部	筑摩書房